

I. 報告事項

- 報告 1 2020 年度事業報告の件
 - 資料 1 2020 年度事業報告書
- 報告 2 2021 年度事業計画の件
 - 資料 2 2021 年度事業計画書
- 報告 3 2021 年度収支予算書の件
 - 資料 3 2021 年度収支予算書

II. 決議事項

- 第 1 号議案 2020 年度決算の件
 - 資料 4 貸借対照表
 - 資料 5 正味財産増減計算書
 - 資料 6 財産目録（注記，附属明細書を含む）
 - 資料 7 監査報告書

2021 年 6 月 25 日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-22
機械振興会館 別館 102

電話 03-3433-8441
FAX 03-3433-8442
E-mail info@jfps.jp

I. 報告事項

1. 2020年度事業報告の件

資料1 2020年度事業報告

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

1-1 事業

(1) 集会事業 (企画委員会)

事業名	行事名	期日	場所
総会	第39期通常総会	2020. 6. 30	東京(機械振興会館) オンライン
講演会	2020年春季フルードパワーシステム講演会	中止	
	2020年秋季フルードパワーシステム講演会 参加者 74名 論文数 32件	2020. 12. 8 ~12. 9	岡山(岡山理科大学) 対面・オンライン併用
講習会	フルードパワー道場15	中止	
	フルードパワーシステム特別研修会 登録参加者 8社・8名	4回開催 第5回以降 検討中	オンライン
セミナー	春季講演会併設セミナー	中止	
	2020年度オータムセミナー 「自動車におけるフルードパワー技術」 参加者 29名	2020. 11. 20	東京(機械振興会館) 対面・オンライン併用
	2020年度ウィンターセミナー 「フルードパワーシステムにおける解析技術」 参加者 個人：21名, 団体：5団体	2021. 3. 10	オンライン
教育講座	入門者向き実習講座「油空圧技術」	中止	
	2020年度 特別教育講座	中止	

(2) 研究委員会 (企画委員会・基盤強化委員会)

1. 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する基盤研究委員会
(委員長 西海 孝夫, 2019年4月~2021年3月) 3~4回/年開催
2. 機能性流体フルードパワーシステムに関する研究委員会
(委員長 中野 政身, 期間延長; 2020年4月~2021年3月) 3~4回/年開催
3. 深層学習を活用したフルードパワーシステムのモデル化と制御に関する研究委員会
(委員長 小林 亘, 2019年4月~2021年3月) 3~4回/年開催

(3) 会誌（編集委員会）

	Vol.	No.	発行年月日
会誌「フルードパワーシステム」	51	3	2020. 5. 15
		4	7. 15
		E1	8. 15（電子出版）
	52	5	9. 15
		6	11. 15
		1	2021. 1. 15
		2	3. 15
発行数	電子出版を含め7回発行， 毎号1, 550部		

(4) 研究論文（論文集委員会）

	和文/英文誌の別	投稿論文 受付件数	論文集 掲載済	掲載待ち	校閲中	返却
2019年度	和文誌	5	5	0	0	0
	英文誌	5	3	0	0	2
2020年度	和文誌	5	0	3	0	2
	英文誌	6	2	1	3	0

(5) 表彰（表彰委員会）

① 2019年度（一社）日本フルードパワーシステム学会賞授賞者

・学術論文賞：

「油圧機械式無段変速機的设计手法に関する研究」

大内田 剛史（ヤンマー株式会社）， 佐藤 恭一（横浜国立大学）

・技術開発賞：該当なし

・技術功労賞：吉田 伸実（株式会社小松製作所）

・学術貢献賞：柳田 秀記（豊橋技術科学大学）

・最優秀講演賞：

<春季> 社会人部門；大島 雅之（SMC株式会社）

学生部門；渡辺 あかり（信州大学）， 平野 翔太（横浜国立大学）

<秋季> 社会人部門；石栗 航太郎（鉄道総合技術研究所）

学生部門；武井 裕輔（東京電機大学）， 今井 勇樹（東京工業大学）

② 2019年度SMC高田賞：

「天然ゴムの伸張結晶化を用いた軸方向繊維強化型空気圧人工筋肉の長寿命化」

小島 明寛（中央大学）

「ポンプ供給圧低減による水圧モータシステムの高効率化」

八木澤 遼（芝浦工業大学）

③ 2019年度油空圧機器技術振興財団顕彰：

「空気圧駆動機構を用いた人工指による材質認識システムに関する研究」

吉満 俊拓（神奈川工科大学）， 大下 功祐， 萩原 千尋（富士ゼロックス株式会社），

小山 紀（明治大学）

④ 名誉員：則次 俊郎（美作大学）

⑤ フェロー：釣賀 靖貴（日立建機株式会社）

曾谷 康史（川崎重工業株式会社）

兵藤 訓一（東京計器株式会社）

栗林 直樹（川崎重工業株式会社）

五嶋 裕之（株式会社工苑）

1-2 会議及び委員会活動

会議名	回数	備考
第39期通常総会	1回	2020. 6. 30開催(オンライン)
理事会	6回	オンライン, 書面審議
委員長会議	5回	オンライン
評議員会		開催中止
各委員会		
庶務委員会		書面審議
会計委員会		書面審議
編集委員会	6回	オンライン, 書面審議
企画委員会	6回	オンライン
基盤強化委員会		書面審議
論文集委員会		書面審議
出版委員会		書面審議
表彰委員会		書面審議
情報システム委員会	4回	オンライン
国際交流委員会	2回	オンライン, 書面審議
国際シンポジウム実行委員会	4回	オンライン
学会創立50周年記念事業実行委員会	1回	オンライン

(1) 会議

- 理事会 各担当理事からの提案事項, 各委員会活動計画・報告内容, 基盤強化に関する事項などを審議した。
- 委員長会議 理事会開催の前月に開催し, 各委員会活動の調整および理事会に諮る議題を検討した。
- 評議員会 事務局より 2020 年度の評議員会資料を送付し, 学会活動における諸問題について提案いただいた。

(2) 委員会

- 庶務委員会 事務局職員の給与, 賞与の策定, 規程類の改訂審議, その他適宜施策を策定し実施した。
- 会計委員会 財務の管理・運営, 決算書・予算書などの作成, 会計監査などを適宜実施した。改訂された経理業務処理規定に基づき, 毎月および半期毎の予算管理報告を実施した。
- 編集委員会 会誌の特集企画立案および編集作業を実施した。また, 創立 50 周年を期に, 会員サービスの向上一環として, 学会誌電子版を学会ホームページの会員ページに毎号掲載することとした。
- 企画委員会 講演会, 講習会, セミナーなどの集会事業を企画・実施するとともに, オンライン開催可能な環境整備を行い, オンラインによる講演会, セミナーを開催した。また, 研究委員会や特別研究委員会などの研究調査事業を基盤強化委員会と連携して企画し, 実施した。
- 基盤強化委員会 学会の会員増強, 財務強化のための施策を企画立案し, 実施するとともに, FP 道場や FP 特別研修会などの研修事業を企画・実施した。また, フェローの推薦・認定を行うとともに, 研究者リストの見直しを開始した。
- 論文集委員会 論文集への投稿論文等の校閲の運営・管理を実施した。Web 上で論文投稿・校閲できるシステム (Editorial Manager) による投稿の受付・査読業務を実施し, J-STAGE 上で和文論文集 2 編, 英文論文集 3 編を公開した。また, 論文投稿規程の改訂を実施し, 論文投稿料の改訂などを実施した。
- 出版委員会 会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集を実施し, 創立 50 周年記念事業実行委員会出版・編集分

- 科会とともに創立 50 周年記念誌、および機能性流体テキストの編集・発行作業を実施した。
- 表彰委員会 学会賞各賞の募集・選考・表彰、名誉員の推挙、他団体の顕彰への推薦などを実施した。
- 情報システム委員会 情報の充実化のための一環として、学会誌・講演論文集などの電子化、学会 IT 化に関連する事項の整備、HP の充実と保守管理・運営を実施するとともに、創立 50 周年を期とした HP のリニューアル、事務局のテレワーク環境整備を実施した。
- 国際交流委員会 新型コロナウイルスの影響で延期された第 6 回日中韓ジョイントワークショップ開催に向け、各国と連絡を取り、参加者の募集を実施した。
- 国際シンポジウム実行委員会 新型コロナウイルスの影響で延期された第 11 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム函館の開催準備として、実行委員会開催、各種アナウンスおよび募集等を適宜実施した。
- 学会創立 50 周年記念事業実行委員会 記念式典・企画分科会、記念出版・編集分科会、財務分科会の 3 分科会にて、創立 50 周年記念式典の企画・準備、記念出版準備、学会誌アーカイブ事業などを実施。

(3) 寄付金

①一般寄付金振込額

¥ 10,000 (匿名, 2021年2月16日)

¥ 5,000,000 (SMC株式会社, 2021年3月31日)

②創立50周年記念事業特別会費 (2020年5月31日 最終)

正 会 員 : ¥ 2,345,000 (142名)

賛助会員 : ¥ 7,200,000 (51社)

合 計 : ¥ 9,545,000

(4) 会員の移動状況

会員の種別	2020年4月1日	2021年4月1日	差引増減	備考
正会員(注)	877名	855名	-22名	
学生会員	89名	60名	-29名	
賛助会員	129社 (282口)	125社 (279口)	-4社 (-3口)	

(注) 正会員の内訳 :

2020年4月1日 名誉員 14名, シニア員 47名, ジュニア員 105名, その他 711名

2021年4月1日 名誉員 14名, シニア員 50名, ジュニア員 90名, その他 701名

2. 2021年度事業計画の件

資料2 2021年度事業計画書 (案)

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月31日

2-1 事業計画

(1) 集会事業

事業名	行事名	期日	場所
総会	第40期通常総会	2021. 6. 25	東京(機械振興会館) オンライン
式典	学会創立50周年記念式典	2021. 6. 25	東京(機械振興会館) オンライン
講演会	2021年春季 フルードパワーシステム講演会	2021. 6. 24 ～6. 25	オンライン
	第11回JFPS国際シンポジウム 函館2020	2021. 10. 12 ～10. 13	函館(函館アリーナ) オンライン
研修会	フルードパワー道場15 「・・・・・・・・・・・・・・・・」	4回開催	オンライン 東京近郊・他
	フルードパワーシステム特別研修会	4～5回開催	オンライン 東京近郊・他
セミナー	学会創立50周年記念特別セミナー 「製品を通してフルードパワー技術を振り返る」	2021. 6. 24	オンライン
	2021年度オータムセミナー	2021. 11	オンライン 東京近郊・他
	2021年度ウィンターセミナー	2022. 2	オンライン 東京近郊・他

(2) 研究委員会 (企画委員会, 基盤強化委員会)

- 1) 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する基盤研究委員会
(委員長 西海 孝夫; 2021年4月～2023年3月) 3～4回/年開催
- 2) 機能性流体フルードパワーシステムに関する研究委員会
(委員長 中野 政身, 期間延長; 2021年4月～2022年3月) 3～4回/年開催
- 3) 深層学習を活用したフルードパワーシステムのモデル化と制御に関する研究委員会
(委員長 小林 亘, 期間延長; 2021年4月～2022年3月) 3～4回/年開催

(3) 学会誌・論文集

学会誌「フルードパワーシステム」を, 電子出版号を含めて年7号刊行する。

「日本フルードパワーシステム学会論文集」, 「JFPS International Journal of Fluid Power System」を, 適宜 J-STAGE に掲載する。

(4) 出版物

講演会の論文集, セミナーのテキスト, 研究委員会の研究成果報告書などを出版する。

学会創立50周年記念出版として, 記念誌「一般社団法人日本フルードパワーシステム学会50年のあゆみ」および機能性流体テキスト「機能性流体入門～基礎と応用～」を出版する。

(5) 表彰

学会賞 (学術論文賞, 学術貢献賞, 技術開発賞, 技術功労賞, 最優秀講演賞), SMC 高田賞,

名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦などの募集，選考，表彰を実施する。

- (6) 他学協会との共催，協賛
「フルードパワーシステム講演会」，オータムセミナー，ウィンターセミナー，その他企画事業について関連団体へ共催・協賛を積極的に要請する。同じく，関連団体よりの共催・協賛要請に適宜対応する。
- (7) 学会 IT 環境整備事業
会員へのサービス向上のため IT 環境の整備，特に HP を逐次更新し，最新情報を担保するとともに，会員管理システムのセキュリティ更新，学会事務局のセキュリティ確保を実施する。
- (8) 国際交流事業
韓国で開催される日中韓共同ワークショップに論文を発表するとともに参加する。
第 11 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム函館 2020 を開催する。
- (9) 産・学共同研究事業
IFPEX2021 カレッジ研究発表コーナーに出展する。また，日本フルードパワー工業会と共同し，関連情報の収集，テーマの設定，研究開発の概要などを検討する。
- (10) 学会設立 50 周年記念事業
学会設立 50 周年記念事業実行委員会にて，創立 50 周年記念式典，50 周年記念特別セミナーをオンライン開催する。また，記念誌出版などの記念事業を進める。

2-2 会議及び各委員会の活動計画

- (1) 通常総会 第 40 期通常総会 (5 月 25 日開催予定)
- (2) 理事会 年 6 回開催 (委員長会議 (年 5 回) で理事会の議題調整・準備)
- (3) 各委員会
庶務委員会：
組織，定款・細則・諸規程整備，渉外・人事などに関する策定と実施 (適宜開催)
会計委員会：
財務の管理・運営，決算書・予算書等の作成，年度末の会計監査の実施，毎月の予算管理および半期ごとの予算執行状況報告。(適宜開催)
編集委員会：
会誌の特集企画立案および編集，新トピックス記事の検討。(年 6 回，その他分科会)
企画委員会：
講演会，講習会，セミナーなどの集会事業の企画策定と実施，研究委員会や特別研究委員会などの研究調査事業の基盤強化委員会との連携による企画，運営 (年 6 回，その他分科会適宜開催)
基盤強化委員会：
学会会員増強，財務基盤強化のための施策の企画立案と実施。若手道場や FPS 特別研集会などの若手技術者の研修事業の企画と実施 (年 4 回)
論文集委員会：
論文集への投稿論文などの校閲の運営・管理，J-STAGE での公開。(適宜開催)
出版委員会：
会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案および編集 (適宜開催)
表彰委員会：
学会賞等の各賞の募集・選考・表彰，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦 (適宜開催)
情報システム委員会：

情報の充実化策定と実施, 学会誌・講演論文集等の電子化および公開, 学会 IT 関連整備,
HP の充実化と管理・運営 (年 4 回開催)

国際交流委員会 :

韓国で開催される日中韓共同ワークショップに論文を発表するとともに参加する。(適宜開催).

国際シンポジウム実行委員会 :

第 11 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム函館の開催準備を進め, 10 月にはオンライン (オンデマンド方式) によるシンポジウムを開催する.

学会創立 50 周年記念事業実行委員会 :

記念式典・企画分科会, 記念出版・編集分科会, 財務分科会の 3 分科会にて, 記念式典, 50 周年記念特別セミナー, 学会創立 50 周年記念誌の出版, 機能性流体テキストの出版, 学会誌アーカイブの HP 会員ページへの掲載を実施する.

資料 3 2021年度収支予算書

2021年 4月 1日～2022年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	2021 年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	23,080,000
正会員会費収入	6,116,000
賛助会員会費収入	16,740,000
学生会員会費収入	224,000
受取参加料	11,600,000
春季・秋季講演会収入	1,200,000
オータム・ウィンターセミナー収入	700,000
FP 道場収入	500,000
OHC-Sim 事業収入	0
研究委員会収入	0
特別研修会収入	1,400,000
国際シンポジウム収入	7,800,000
国際交流事業収入	0
受取販売料	550,000
学会誌頒布収入	350,000
諸資料頒布及び著作権料収入	200,000
受取掲載料	400,000
論文掲載料収入	400,000
受取広告料	1,300,000
広告料収入	1,300,000
受取出展料	100,000
IFPEX 展示収入	100,000
受取補助金等	500,000
国際シンポジウム	500,000
秋季講演会	0
受取寄付金	300,000
国際シンポジウム	300,000
その他	0
雑収益	20,000
普通預金利息	0
雑収益	20,000
経常収益計	37,850,000
(2) 経常費用	
会誌事業費	5,460,000
会議費	20,000
諸謝金費	400,000
印刷製本費	3,000,000
通信運搬費	800,000
編集業務委託費	1,200,000
支払手数料	40,000
企画事業費	670,000
会議費	20,000
春季・秋季講演会開催費	200,000
セミナー（オータム・ウィンター）開催費	300,000
FP 道場開催費	150,000

科 目	2021 年度
研究委員会事業費	300,000
機能性流体研究委員会費	100,000
トライボロジー研究委員会費	100,000
深層学習研究委員会費	100,000
OHC-Sim 事業費	0
OHC-sim 特別教育講座開催費	0
OHC-sim 特別研究委員会費	0
特別研修会事業費	350,000
FPS 特別研修会開催費	350,000
表彰事業費	240,000
表彰費	240,000
情報関連事業費	2,270,000
保守費	250,000
IT 環境整備費	1,850,000
サーバー保守費	150,000
会議費, 運営費	20,000
国際交流事業費	50,000
国際交流事業費	50,000
論文集事業費	500,000
会議費	0
論文集公開経費 (J-STAGE)	500,000
IFPEX 開催費	150,000
IFPEX 開催費	150,000
創立 50 周年事業費	3,630,000
会議費	20,000
記念式典・企画事業	250,000
記念出版・編集事業	1,960,000
広報事業	400,000
学会事務局設備更新	1,000,000
国際シンポジウム開催費	7,180,000
国際シンポジウム開催費	7,180,000
準備費	0
管理費	22,000,000
給料手当	10,100,000
福利厚生費	2,550,000
会議費	400,000
旅費交通費	200,000
通信運搬費	300,000
什器備品費	350,000
消耗品費	200,000
賃貸料	3,600,000
諸謝金	800,000
支払手数料	80,000
他団体参加費	120,000
基盤強化委員会費	50,000
租税公課	0
退職給付費用	1,000,000
減価償却費	1,750,000
雑費	500,000
経常費用計	42,800,000
当期経常増減額	-4,950,000

II. 決議事項

第1号議案 2020年度決算の件

資料4 貸借対照表

2021年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度(2020)	前年度(2019)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	42,613,123	41,280,415	1,332,708
未収金	2,045	0	2,045
流動資産合計	42,615,168	41,280,415	1,334,753
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	2,000,000	1,000,000	1,000,000
情報システム運営基金	5,000,000	5,000,000	0
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	7,586,511	0
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	11,253,505	0
産学共同研究基金預金	6,866,252	6,866,252	0
出版事業基金預金	2,574,574	2,574,574	0
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	5,000,000	0
特定資産合計	40,280,842	39,280,842	1,000,000
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	0	687,555	△ 687,555
リース資産	2,685,096	3,724,488	△ 1,039,392
電話加入権	38,441	38,441	0
敷金	3,163,800	3,163,800	0
その他固定資産合計	5,887,337	7,614,284	△ 1,726,947
固定資産合計	46,168,179	46,895,126	△ 726,947
資産合計	88,783,347	88,175,541	607,806
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	45,100	45,100	0
前受金	5,035,000	5,035,000	0
前受会費	15,980,000	16,196,000	△ 216,000
預り金	76,877	353,184	△ 276,307
未払法人税等	135,800	120,700	15,100
未払消費税等	0	345,800	△ 345,800
流動負債合計	21,272,777	22,095,784	△ 823,007
2. 固定負債			
リース債務	2,685,096	3,724,488	△ 1,039,392
退職給付引当金	2,175,332	1,620,448	554,884
固定負債合計	4,860,428	5,344,936	△ 484,508
負債合計	26,133,205	27,440,720	△ 1,307,515
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	62,650,142 (38,280,842)	60,734,821 (38,280,842)	1,915,321 (0)
正味財産合計	62,650,142	60,734,821	1,915,321
負債及び正味財産合計	88,783,347	88,175,541	607,806

資料5 正味財産増減計算書

2020年 4月 1日～2021年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度(2020)	前年度(2019)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,693	3,858	△ 165
特定資産受取利息	3,693	3,858	△ 165
受取会費	23,089,086	24,040,000	△ 950,914
正会員会費収入	6,065,086	6,700,000	△ 634,914
賛助会員会費収入	16,800,000	17,040,000	△ 240,000
学生会員会費収入	224,000	300,000	△ 76,000
受取参加料	2,411,550	7,351,740	△ 4,940,190
春季・秋季講演会収入	767,000	3,942,000	△ 3,175,000
オータム・ウィンターセミナー収入	844,550	328,000	516,550
FP道場収入	0	1,032,000	△ 1,032,000
OHC-Sim事業収入	0	179,740	△ 179,740
FPS特別研修会収入	800,000	1,600,000	△ 800,000
研究委員会収入	0	270,000	△ 270,000
受取販売料	581,670	715,401	△ 133,731
学会誌頒布収入	385,906	334,054	51,852
諸資料頒布及び著作権料収入	195,764	381,347	△ 185,583
受取掲載料	100,000	145,000	△ 45,000
論文掲載料収入	100,000	145,000	△ 45,000
受取広告料	1,313,400	1,288,296	25,104
広告料収入	1,313,400	1,288,296	25,104
受取補助金等	786,044	928,000	△ 141,956
国際シンポジウム	0	500,000	△ 500,000
秋季講演会	99,044	428,000	△ 328,956
その他	687,000	0	687,000
受取寄付金	5,365,000	7,480,000	△ 2,115,000
50周年記念事業	355,000	2,480,000	△ 2,125,000
その他	5,010,000	5,000,000	10,000
雑収益	180	880	△ 700
普通預金利息	180	261	△ 81
雑収益	0	619	△ 619
経常収益計	33,650,623	41,953,175	△ 8,302,552
(2) 経常費用			
会誌事業費	5,243,961	5,824,220	△ 580,259
会議費	0	488,209	△ 488,209
諸謝金費	353,390	390,000	△ 36,610
印刷製本費	2,868,657	2,951,055	△ 82,398
通信運搬費	882,754	789,400	93,354
編集業務委託費	1,103,740	1,165,556	△ 61,816
支払手数料	35,420	40,000	△ 4,580
企画事業費	560,412	3,897,106	△ 3,336,694
会議費	4,000	622,487	△ 618,487
春季・秋季講演会開催費	260,873	2,885,418	△ 2,624,545
セミナー(オータム・ウィンター)	295,539	140,716	154,823
FP道場開催費	0	248,485	△ 248,485
研究委員会事業費	100,000	397,394	△ 297,394
機能性流体研究委員会	100,000	343,000	△ 243,000
1DCAE研究委員会	0	17,820	△ 17,820
深層学習研究委員会	0	36,574	△ 36,574
OHC-Sim事業費	0	505,532	△ 505,532
OHC-Sim特別教育講座	0	225,096	△ 225,096
OHC-sim特別研究委員会	0	280,436	△ 280,436
特別研修会事業費	73,133	321,168	△ 248,035
FPS特別研修会事業費	73,133	321,168	△ 248,035

科 目	当年度(2020)	前年度(2019)	増 減
表彰事業費	315,077	230,878	84,199
表彰費	315,077	230,878	84,199
情報関連事業費	835,445	1,599,953	△ 764,508
保守費	188,955	212,181	△ 23,226
回線使用料・ドメイン管理費	42,700	30,640	12,060
IT環境整備費	494,560	1,226,016	△ 731,456
サーバー保守費	109,230	103,788	5,442
会議費、運営費	0	27,328	△ 27,328
国際交流事業費	0	462,480	△ 462,480
国際交流事業費	0	462,480	△ 462,480
論文集事業費	510,070	843,988	△ 333,918
論文集公開経費 (J-STAGE)	510,070	843,988	△ 333,918
IFPEX 開催費	0	0	0
IFPEX 開催費	0	0	0
国際シンポジウム開催費	684,860	251,050	433,810
準備費	684,860	251,050	433,810
50周年記念事業費	2,080,482	505,931	1,574,551
会議費	13,420	96,101	△ 82,681
通信運搬費	0	116,830	△ 116,830
記念出版・編集	1,671,502	50,000	1,621,502
広報(Web.,パンフレット等)	395,560	242,230	153,330
支払手数料	0	770	△ 770
管理費	21,195,491	22,075,510	△ 880,019
給料手当	9,791,131	9,570,288	220,843
福利厚生費	2,256,983	2,376,872	△ 119,886
会議費	382,492	1,317,931	△ 935,439
旅費交通費	133,860	202,187	△ 68,327
通信運搬費	243,330	315,797	△ 72,467
什器備品費	311,040	311,040	0
消耗品費	81,471	189,079	△ 107,608
賃貸料	3,597,204	3,564,504	32,700
諸謝金	820,883	767,919	52,964
支払手数料	85,440	78,862	6,578
他団体参加費	99,380	105,227	△ 5,847
基盤強化委員会費	14,780	227,048	△ 212,268
租税公課	1,050	345,800	△ 344,750
退職給付費用	554,884	497,593	57,291
減価償却費	1,726,947	1,789,452	△ 62,505
雑費	1,094,616	415,911	678,705
経常費用計	31,598,931	36,915,210	△ 5,316,279
評価損益等調整前当期経常増減額	2,051,692	5,037,965	△ 2,986,273
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,051,692	5,037,965	△ 2,986,273
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	2,051,692	5,037,965	△ 2,986,273
法人税、住民税及び事業税	136,371	121,306	15,065
当期一般正味財産増減額	1,915,321	4,916,659	△ 3,001,338
一般正味財産期首残高	60,734,821	55,818,162	4,916,659
一般正味財産期末残高	62,650,142	60,734,821	1,915,321
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	62,650,142	60,734,821	1,915,321

資料6 財産目録

2021年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	202,187	
	預金	普通預金	42,410,936	
		新生銀行本店	245,224	
		横浜銀行新橋支店	15,081	
		芝信用金庫新橋支店	24,425	
		三菱東京UFJ銀行本店	61,345	
		りそな銀行新橋支店	8,813,286	
		りそな銀行赤坂支店	392,305	
		みずほ銀行新橋支店	10,731,282	
		三井住友銀行日比谷支店	20,570,638	
	郵便貯金	1,316,350		
	郵便振替	241,000		
	未収金		2,045	
	その他	源泉所得税の過納付額	2,045	
流動資産合計			41,280,415	
(固定資産) 特定資産	退職給付引当預金	定期預金 三井住友銀行日比谷支店	2,000,000 2,000,000	
	情報システム運営基金	定期預金 新生銀行本店	5,000,000 5,000,000	
	国際交流事業運営基金預金	定期預金 三菱東京UFJ銀行本店 横浜銀行新橋支店	7,586,511 4,554,865 3,031,646	
	国際シンポジウム運営基金預金	定期預金 りそな銀行赤坂支店 芝信用金庫新橋支店	11,253,505 2,654,405 8,599,100	
	産学共同研究基金預金	定期預金 りそな銀行赤坂支店 横浜銀行新橋支店	6,866,252 5,029,683 1,836,569	
	出版事業基金預金	定期預金 三井住友銀行日比谷支店 みずほ銀行新橋支店	2,574,574 1,553,973 1,020,601	
	フルードパワーシステム技術基金	定期預金 新生銀行本店	5,000,000 5,000,000	
	その他 固定資産	リース資産		2,685,096
			東京都港区芝公園3丁目 5番22号	251,100
			同上	1,971,972
			同上	462,024
		電話加入権	同上	38,441
		敷金	同上	3,163,800
	固定資産合計			46,168,179
	資産合計			88,783,347

(流動負債)	未払金			45,100
		堀井公認会計士事務所	2021年3月分税理士顧問料	45,100
	前受金			5,035,000
		(株)SMC ウィンターセミナー参加費	2021年度分寄附金 ウィンターセミナー参加費	5,000,000 35,000
	前受会費			15,980,000
		学生会員 賛助会員	学生会員の受取会費前受分 賛助会員の受取会費前受分	18,000 15,420,000
		2021年度正会員 2022年度正会員 2023年度正会員	2021年度の正会員会費 2022年度の正会員会費 2023年度の正会員会費	508,000 30,000 4,000
	預り金			76,877
		給与	2021年1月～3月分の源泉 所得税	25,400
		報酬 士業報酬	2021年3月分源泉所得税 2021年1月～3月分の源泉 所得税	12,507 15,570
		住民税	2021年3月分の住民税	23,400
	未払法人税等		2020年度の法人税、住民税 及び事業税	135,800
流動負債合計				21,272,777
(固定負債)	リース債務			2,685,096
		東京都港区芝公園3丁目 5番22号	事務所使用のパソコン	251,100
		同上	事務所使用の複合機	1,971,972
		同上	事務所使用のサーバー	462,024
退職給付引当金		職員に対する退職金の支払 いに備えたもの	2,175,332	
固定負債合計				4,860,428
負債合計				26,133,205
正味財産				62,650,142

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

職員の退職金支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産

リース期間定額法によっている。

② ソフトウェア

定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	1,000,000	1,000,000	0	2,000,000
情報システム運営基金	5,000,000	0	0	5,000,000
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	0	0	7,586,511
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	0	0	11,253,505
産学共同研究基金預金	6,866,252	0	0	6,866,252
出版事業基金預金	2,574,574	0	0	2,574,574
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	39,280,842	1,000,000	0	40,280,842
合 計	39,280,842	1,000,000	0	40,280,842

3. 特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	2,000,000	(0)	(0)	(2,000,000)
情報システム運営基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	(0)	(7,586,511)	(0)
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	(0)	(11,253,505)	(0)
産学共同研究基金預金	6,866,252	(0)	(6,866,252)	(0)
出版事業基金預金	2,574,574	(0)	(2,574,574)	(0)
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	40,280,842	(0)	(38,280,842)	(2,000,000)
合 計	40,280,842	(0)	(38,280,842)	(2,000,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	6,026,400	3,341,304	2,685,096
ソフトウェア	3,750,300	3,750,300	0
合 計	9,776,700	7,091,604	2,685,096

5. 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対 照表上 の記載 区分
(公社)岡山観光コンベンション協会感染予防対策支援助成金	(公社)岡山観光 コンベンション 協会	0	99,044	99,044	0	—
事業継続緊急対策(テレワーク)助成金	(公財)東京しごと財団	0	687,000	687,000	0	—
合 計		0	786,044	786,044	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

特定資産の明細は，財務諸表に対する注記に記載しているため附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,620,448	554,884			2,175,332

資料7 監査報告

監査報告

2021年4月23日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会
会長 眞田 一志 殿

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

監事 井口 謙彦



監事 川上 幸男



監事 吉成 孝正



私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの第39期事業年度の理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、また、メールによる書面審議にて業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、必要に応じて会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、内訳表を含む正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく、示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。